

バリ州における抗議デモに関する現状と今後の注意喚起

令和7年9月3日(DPS 総25第41号)
在デンパサール日本国総領事館

1. バリ州においては、8月30日に大規模な抗議デモが発生しましたが、バリ州においては8月31日以降は、大規模な抗議デモは現在のところ発生していません。
2. 9月2日、ワヤン・コスター・バリ州知事はバリ州における抗議デモの終息を宣言するプレスリリースを発出しました。
3. 他方で、バリ州以外の地域では、西ヌサトゥンガラ州を含め引き続き抗議デモの呼びかけが行われている地域があります。また、他の地域での情勢がバリ州に影響する可能性もあります。
4. 今後も引き続き抗議デモの情報収集に努めいただき、遭遇した場合には速やかに現場から離れるようにしてください。また、渡航を検討されている方におかれては、事前に現地の最新情報の収集に努めるなど、十分に注意してください。

【参考:バリ州知事プレスリリース(仮訳)】

件名:バリは安全で良好な状態

本文:

バリ州知事ワヤン・コスターは、バリ島での抗議活動は終結し、知事と治安部隊の緊密な連携、ならびに宗教評議会、デサ・アダット(伝統村)、プチャラン(伝統的治安要員)、および社会各層の支援と積極的な参加により、成功裏に管理されたと述べた。

バリ島全域のコミュニティ活動は通常通り正常に戻っている。

ワヤン・コスター知事は、バリ島が現在非常に安全で、良好かつ平和な状態にあることを強調した。

また、国内外の観光客に対し、バリ島の自然美、人々の温かいおもてなし、そしてバリ文化の多様性と独自性を楽しむために、心からバリ島へ訪れるよう呼びかけている。

バリ島をお楽しみください！

2025年9月2日
バリ州知事
ワヤン・コスター

(了)